

2021北麓スプリント 新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル 7.24版 山梨陸上競技協会

【1】 大会を実施するにあたっての感染症対策

- ① 3密を回避する配慮を徹底して行う。
- ② 競技者、関係者の自覚（自ら自分の身を守り、他人に感染させない）を促す指導をする。
- ③ 活動再開ガイドラインと施設利用に関するガイドラインを遵守する。

【2】 具体的な対策

① 大会への移動方法

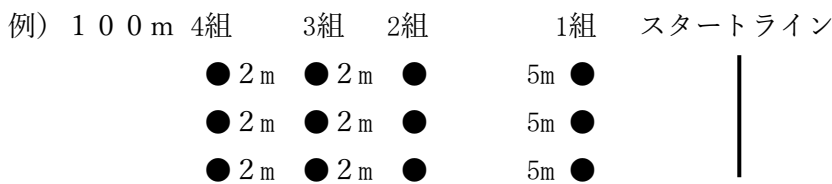
富士北麓公園への交通手段については感染リスクの少ない方法での現地集合をお願いします。

② 各場所の集合形態

「ソーシャルディスタンス」「マスク着用」の徹底。

③ 招集の方法について

○選手の密集を避けるため、招集所を開設せず、現地集合のみとする。場所と時間についてはプログラムの指示に従うこと（100m=スタート地点付近、フィールド種目=各ピット）。



※ 2組1レーン、2組2レーン…プログラム記載通り指定された時間に指定された位置に集合し、順次スタートする。

○競技者係は出発係と連携し、選手のDNS等を逐一連絡する。

○フィールド種目の待機場所では1.5m間隔で指定場所を作成。

④ 服装について

○審判員は、マスクは全員が着用、フェイスシールド・ビニール手袋・軍手

○選手はマスク着用（競技時は外してよいが、待機中は着用する）

⑤ 会場・観客席への入場

○無観客として実施する。観客席・及び会場へは、大会関係者・選手・監督・コーチ・報道関係者のみ入場できるものとする。IDカードで入場を制限する。

○大声を出しての応援は禁止とする。

○係員が巡回し、観戦者が密集することがないように徹底する。

⑥ 各団体の対策

○各団体がテントやシートでベンチを作る場合は、平素よりもスペースを広めにとることと、ベンチ内で密集しないよう徹底する。自分の競技がない時間帯は基本的にはメインスタンドでの観戦を推奨し、またそのことを係員が巡回指導を行って徹底する。

○大会中、仲間との握手やハイタッチ、ハグ等の行為がないよう事前に各団体で指導を行う。

○当日出たゴミについては各団体が責任を持って持ち帰る。

⑦ 室内練習場・更衣室の使用について

○室内練習場(ウッドストレート)はW-upのみとし、待機所としない。

○室内練習場

(ウッドストレート)は選手のみ入場可とし、付き添いは入場できない。集団でのアップや練習等は禁止とし、個別に距離を保って活動を行う。

○更衣室には係員をつけ、最大10名で更衣が終了次第すぐに退出してもらう。

⑧ 消毒対策

○各団体に消毒液を持参し、選手が競技場へ来た際と帰る際、また、ベンチ等に常備しておき頻繁な消毒を徹底する。

○玄関・各ゲート等の出入口と必要な競技場所に消毒液を設置し、選手・競技役員・関係者の消毒を促す。競技前後の導線を示し、密にならない工夫を施す。

○共用の器具に触れる種目では競技前に手を消毒し、競技後にまた手を消毒するという方法を取る。競技後手洗い等でのタオルの使い廻しは厳禁とする。

例：100m： スタート前に手を消毒、スタプロに触れる、ゴール後に手を消毒

砲丸投： 投擲前に手を消毒、砲丸を投げる、1投投げる毎に手を消毒

⑨ 健康チェック・参加要件

○大会当日までのJAAF健康チェック表(陸協HPにも掲載)を本人、家庭の責任のもと作成し、本人が健康であることを確認した上で、未成年者は保護者に参加の承諾をもらう。症状がある場合は団体責任者に報告し、大会への参加は自粛する。当日朝、大会参加前の受付時に参加承諾書及び健康チェック表を回収する。

※競技に参加する選手だけでなく、マネージャーや競技に参加しない者についても、来場する際は参加承諾書と健康チェック表を提出しなければならない。大会4日前から当日までの間に該当するに○がある場合は出場・観戦を自粛する。

○当日の検温欄に記載がない者は、当日備付の体温計を使って測定し、参加の可否を判断する。

○試合を観戦する関係者についても入場ゲートにて健康チェック表の提出が必要となるため、事前に連絡し、当日記入した表を持参することを徹底する。

○試合後も来場した関係者すべてが健康チェックを続け、症状が4日以上続いた場合には各団体責任者に連絡する。責任者は山梨陸協に連絡し、該当者の健康チェック表を回収・提出し、その後の指示を仰ぐ。

⑩ 競技運営について

○時間短縮のため、決勝のみレーン紹介を行う。フィールド種目もトップ8紹介は行わない。

○今大会は表彰がなく、記録の発表も掲示板なしの方法で運営。

⑪ 救急・救護体制について

○大会中、救護室に医療関係者が常駐する。

○医療関係者の指示の下、救護室の他に隔離室を設け、環境を整備する。

○近隣の医療機関と連携し、必要な場合はすぐに搬送できるようにする。

⑫ 報道について

○報道関係者についても健康チェックシートの提出を義務付け、事後の健康チェックも継続する。4日以上症状が続く場合は山梨陸協に連絡する。

○各社の人数については事前に相談する。取材エリアを設ける。